新京日日新聞 夕刊 十二月十七日(日)

昭和八年の回顧(七)

特産下落の爲 政府は救濟に大童

滿洲國財界の一年(三)

サテ九月中は十二日の東拓新京支店開設の外に目ぼしいものはなかつたが、十月に入ると俄然問題は山積みされ外相更迭、軍事公債發行で、圓貨は軟弱材料を表面化し一方特産物は新舊兩穀の過渡期のため四品の出廻り十三萬三千瓩大連輸出十三萬八千瓩で昨年より二萬瓩を減じ相場も二割増收のため仲秋決濟期を控へて賣り急ぎ軟調を續けたそのため實業部では大豆對策を講じ

工業化(食料飼料化燃料化)
倉積利用
金融制度確立
輸出税低下
運賃遞減

の方法により、農民救濟に乘り出した殊に黒龍江省の如きは東支線の運賃が高い爲地元相場の下落甚しく收支の對比十對十三と云ふ悲慘な狀況となつた、一方鴨綠江木材は原木薄の聲に搬出に必死の努力を拂つたが、工事季の終末を控へて需要多く吉林材の進出に機會を與へ、滿鐵の紅松大量註文を消化し、省内地朝鮮への輸出の機會を與へて了つた、そのため新京には吉林材がドシ／＼進出して木材界は鴨綠江材との戰端が開かれた又滿洲國内の採金事業の大綱が發表されて、奉天熱河兩省の金鑛が一般に開放されてゴールドラッシュに一エポックを作つたことも忘れられない

×

新京驛の南行大豆は舊穀一掃で一寸一服の形であつたが、二萬八千七百キロトン移出され麥粉は六千八百キロトンの大割増に急激に増加してゐるがこれは銀高のため又石炭は冬籠季を控へて八千五百瓩到着、生果野菜が六千五百瓩鐵六千六百キロトン石材洋灰砂一萬六千キロトン木材一萬五千キロトン等土建界最後の繁昌振りを示してゐる、殊に電々會社の創立は滿洲通信界の一大飛躍であり、これに伴れて電報料値下げ運動も起つた又十三日には舊政權時代の債權辨法が公布されて舊債權が復活し世界各國の滿洲國に對する經濟的信用を倍加されたかくて十一月に入るや中央銀行や滿洲國政府の農民救濟策が効を奏して農民の賣急ぎを防止した結果特産相場も漸く維持され倉積大豆が増加しのであるを漸く認識し樂土旺歌の聲が漲つて來たが、一方滿鐵では滿鐵改組問題が社員會の問題となり、遂に越月して十二月十二日軍、滿の意見が一致して締合經營から單一化されることに決定するまで波瀾曲折朝野の財界人の耳を聳たしめた、斯くの如く滿洲國の財界の一ケ年を回顧して見ると相當波亂もあつたが然し終始一貫中央銀行の通貨縮少政策が効を奏して滿洲國幣の信用は累月躍進し特産下落を除いては躍進々々の一年であつた、勿論その間銀相場の關係で多少の波動はあつたが、國民の生活には大した影響もなかつたわけで、來る年こそ向一段の飛躍が約束されてゐる、さてこれが市民の生活にどれだけ影響してゐるであらうか、一度市民の懐について臺所を打診して見よう　(續く)

拉賓線假營業開始は 一月十日ごろ

(ハルビン十六日發國通)本日開通式を行つた拉賓線は十七日の試運轉を終つて後略線の補強工事をすふため北滿一千萬全住民待望の假營業は大同三年一月十日頃迄に行はれるものと觀られてゐるが、假營業中は拉賓線の經濟的重要性を考慮し一切の貨物取扱は本營業と同樣に取扱はれるため本線の假營業中の活躍は重大視されてゐる

拉賓線は 日本北滿間の最短路

(ハルビン十六日發國通)松花江大鐵橋の完成を最後の工事に凡有る意味に於て待たれつつあつた拉賓線二百六十一粁は北鐵南部線に比較して約二粁長く、南部線東邊の特産集合地を貫通し完全に南部線の死命を制することになつた即ち南部線沿線の出廻りも貨車發送數も僅かにして昨年に比し激減し拉賓線開通近きを豫想せる五常、山家屯方面よりは何れも南部線による搬出を中止し、同地方新線各驛に搬出し構内には早くも貨物が山積されてゐる、斯くて同地一帶の特産を集めると共に更に輸入貨物は北鮮港を經由乃至は南部線を回避し本線に流入するは之亦當然の事實である、これによつて觀ても國鐵各線を除く輸出入貨物は完全に同線に吸收されることが明白であり且つハルビンより拉哈を經て羅津に出る距離は南滿線を經て大連に至るより二〇七粁短縮され、亦下關より鮮鐵經由ハルビンに至る二〇二二粁も、新線經由敦賀に至る一六一六粁に比して問題とならず名實共に第一の重要交通路となつたのである

米國關税委員會 鑵詰の關税 一割五分引上

(ワシントン發國通)十五日カリホルニヤ州選出の上院議員マカズン氏の事務所より米國關税委員會は鮪の罐詰に對する關税を一割五分引上げることに決したが右は同關税の伸縮條項を最大限度迄擴大したもので從來の最低關税三割を四割五分迄引上げたものであると發表された、右引上げ決議に關し從來日本品の流入防止に躍起となつて居た當業者側は之を以て米國罐詰業者の勝利となして居る

北鐵の運賃は なほ高過ぎる 日滿商工聯合會猛省を促す

(ハルビン十六日發國通)日滿商工聯合會では北鐵運賃を國幣建とし有名無實の金ルーブル建を廢止すべく、愈よ積極的運動を行ふ事となつたが、北鐵管理局長ルーディ氏が現在の北鐵運賃は金とルーブルの換算率が低いから結局運賃は下つてゐると稱してゐるので、日本商工會議所はルーディ管理局長に對し金ルーブル百圓に對し金圓は百三圓五十錢の割合であり、北鐵南部線及び滿鐵の運賃に比較すれば、非常な差異があると一々計數的に舉げて反駁し北鐵當局の猛省を促すところあつた

米穀標準公定價格 廿三圓卅錢乃至卅圓五十錢

(東京十六日發國通)農林省發表、米穀統制委員會は十六日の會議の結果、米穀標準價格に關する諸問案審議の結果公定價格を左の如く決定した

最高　三十圓五十錢
最低　二十三圓三十錢

十一月中 上海港貿易額

(上海十六日發國通)本日發表の海關統計に依れば、十一月中に於ける上海港の輸入貿易總額は四六、一五六、一七一元で輸出總額は二七、六三四、八三三元である、之を前月に比較すれば、輸入に於て三、六〇八、一二〇元の減少で輸出では二、一八九、七四一元の増加である

鷄卵及び乳製品專賣 ドイツ政府が

(ベルリン十五日發國通)ドイツ政府は十五日鷄卵及びバター、チーズ其他の乳製品を政府の專賣とする新法令を發布した、右によれば此の種の商品販賣者は國産品たると輸入品たるとを問はず先づこの種商品を專賣當局に提供することを要し、其際若し專賣當局がその買收を拒絶すればその商品は受動的にドイツ國内で販賣出來ぬこととなる、從つて右專賣法の實施によりドイツは之等商談に關する限り自由に外國品を驅逐し得ることになり之と同時に政府はドイツの外國貿易を互惠主義の基礎の上に置くべき一つの有力な武器を獲得する譯である

日滿悲曲 生命線を行く (四十五)

(競上演上映)　國友雄吉　(荒川芳三郎畫)

銃劍の目の前に市子は決心した。

わが子の愛の爲には、支那兵の武器なぞ、恐れては居られなかつた。茂彦に、若し萬一のことでもあつたら、それこそ良人に對して死んでも申譯が無いと思つた。

「奥さん！危ない、早くお逃げなさい！」

その時、うしろの方で、誰か注意をしてくれたやうだつたが、市子は、それを振り返つてゐる遑まも無く、死を賭して進んだ。

果して、支那兵の突き出した銃劍が、彼女の目の前できらめいた。

市子は屈せず、その銃劍の光りの下をかい潜つて、前へ進まうとした。

「女、待てッ！」

獰々しい叫びと共に、前に進んだ支那兵の一人は、いきなり右手を伸ばして、市子の腕部を强く突いた。强力に突き飛ばされ、彼女はたぢろいた。

しかし、その瞬間、日本女性としての血潮が、彼女の魂をして猛々しい反抗に燃え立たせた。

「何をするんです。失禮な！」

さう言つて、必死の力で、更に押し分けて進まうとすると、今度はいま一人、別の支那兵が、いきなり銃を逆しまに振り上げると、その臺尻で、彼女の肩先に、したたか一撃を加へた。

「あッ」といつて、彼女は、俯向に地上に倒れてしまつた。

その上から、土足が――拳が――容赦なく、彼女のか弱い體を、責め苛んだ。

髪は亂れ、服は破れ、肉は傷ついて、ところ／＼血が滲み出た。

それにも屈せず彼女は幾度も起き上つた。そして、起き上るたんびに、突き飛ばされ、蹴り倒された。

「坊や――茂彦――」

悲愴な聲を振り絞つて、彼女はしきりに我子を呼んだ。

けれども無駄。彼女が、命がけの努力も、鬼畜のやうな支那兵の暴力と暴力とに遮られて、どうすることも出來なかつた。

ツイ目の前に、郵便局の建物は見えて居ながら、しかも、我が子を救ふ事はできないのであつた。

「坊や――茂彦――」

彼女の叫びは、支那兵の罵り喚く聲と、あたりの騒々しさとに遮られて、空しく消えてしまふのだつた。

その、騒亂の渦卷の中に、茂彦は、どうなつたのか？ その姿を發見することはもとより、その聲すらも、聞くことはできないのであつた。

市子は狂氣のやうになつた。しかしながら、一歩前に踏み出さうとすれば、銃劍は、忽ち彼女の生命を屠らうとして、心臓のあたりを、その鋭い切先が、狙つてゐるではないか。

彼女はしかし、別段、死を畏れてゐるのではなかつた。しかし、我が子や、良人のことを思へば、こゝで犬死はしてしまひたくなかつた。

「ひよつとしたら坊やは、この騒ぎの中を、くゞり抜けて、家へ戻つて、泣いて居るかも知れない！」

不安の中に、さうした一縷の望みも、あつたのである。

涙をふるつて、怨みを呑んで、いやでも後戻りをするより彼女の採るべき途は無かつたのである。

家へ歸る途中、彼女は、あまりにも悲慘な出來ごとに直面させられた。到底長くは見て居られないので、思はずその兩眼を蔽ひ、總身の血潮は、悲憤に沸つたのであつた。

それは、或る日本人夫婦が、二人とも、殆んど半裸體にせられ、その上、繩で縛られ、半殺しの暴行を受けながら、暴戻鬼畜にひとしい支那兵に引つぱられて行く哀れにも、氣の毒な姿であつた。

そして、家に歸つてみると意外！ 彼女を待ち受けて居たのは、可愛いわが子の姿でなく、暴戻極まる支那兵の掠奪であつた。支那兵と苦力とが十名あまり、入り混つて、土足のまゝで、家内を荒し廻つてゐるのであつた。

新京區公示第二十四號

昭和九年四月新京幼稚園ニ入園希望者ハ左記了知ノ上昭和九年二月十日迄ニ戸籍謄本又ハ同抄本添付京所ニ願出スヘシ

追テ願書用紙ハ當所地方係ニ於テ交付ス

昭和八年十二月十六日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長 荒木章

記

一、入園者ハ昭和三年四月二日ヨリ昭和四年四月一日迄ニ出生シタル者
但シ定員ニ滿タサル時ハ昭和五年四月二日迄ノ出生者ヲシテ選衡入園セシムルコトアルヘシ

一、入園希望者多數ナル場合ハ年齢順ニ年齢同シ場合ハ願出順ニ入園ヲ許可ス

一、トラホーム幼兒及身體檢査不合格ノ者ハ入園ヲ許サス

一、眼疾檢査及身体檢査施日時場所等ハ追テ通知ス

新京區公示第二十二號

新京西部附屬地町名、地番ニ記圖示ノ通リ制定シ昭和八年十二月一日ヨリ實施ス

昭和八年十二月十五日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長 荒木章

記

圖面(省略)
但シ實際圖面ハ新京地方事務所前揭示場ニ揭示ス

范家屯區公示第十六號

昭和九年四月(昭和二年四月二日、昭和三年四月一日間ニ出生シタル者)學齡ニ達シ新京室町尋常高等小學校范家屯分教場尋常科第一學年ニ入學スヘキ見童ハ昭和九年一月二十日迄ニ戸籍謄本又ハ戸籍抄本及種痘證明書ヲ添付當范家屯派出所ニ屆テラルヘシ

追テ入學屆用紙ハ當范家屯派出所ニ於テ交付ス

昭和八年十二月十六日
南滿洲鐵道株式會社
新京地方事務所長 荒木章

新京乘馬俱樂部會員募集

今度當地に乘馬俱樂部が生れました、此際ごし／＼入會して下さい

殊に初心者には教官が親切丁寧に教授致します

一、名譽會員　一時金五十圓也を納入すれば隨時騎乘するを得

一、正會員　申込金十圓也 會費一ケ月金五圓也 納入すれば隨時騎乘するを得

規約書及申込書は左宛假事務所にあります御通知次第御送附致します

新京三笠町五丁目三番地
新京乘馬俱樂部 假事務所

滿鐵改組を繞り政治問題を惹起か

林總裁 軍、滿鐵の意見一致を上京の車中で否認

〔東京十六日發國通〕林、八田滿鐵正副總裁の上京により滿鐵改組問題は中央に還つたが、林總裁は相當の決意を有して居り、近く政府に重要進言をなす筈であるが、右を繞つて重大な政治問題が惹起されるものと觀測されて居る

〔東京十六日發國通〕林八田正副總裁は十六日午後四時四十五分東京驛着列車で入京したが車中左の如く語る

滿鐵改組問題で中央と打合せのため上京した、現地に於て軍と滿鐵と意見一致し現地案なるものが成立した如く傳へられて居るが全然虚報だ、關東軍から

『滿鐵』の機構に關し意見を聽かれ、滿鐵でも出來るだけ資料を提供し部分的には意見を述べたが之は全く内面的だ、公式のものでは絶對にない、滿鐵は普通の會社と違ひ國營會社で政府當局の命に隨ふべきで滿鐵としての公式意見公表は越權だと思ふ、改組については合理的改革なら反對せず、滿鐵としても一個の案がありそれを中央政府に報告する、政府の改組大綱に就き容喙すべき筋合でないが遺憾なのは政府に果して之を決定する對滿國策とも云ふべき定見ありやだ、外國でも注目して居り之に關し滿内の意見が對立せざる樣注意すべきだ、株主や債權者に

『不安』を與へぬ樣政府と相談するが何れ近く發表されるだらう

ると思ふ

選擧法改正問題については自分としては去る議會で言明したやうに何等かの成案を得て議會に提案したいと考へてゐる、滿鐵改組案については未だ何も正式の話は聞いてゐないが、實際に説明を聞いて見た上でないと何とも云へないが、傳へられるやうな監督權を關東軍司令官が持つことは筋が違ふと思ふ、問題は當事者が安心して行けるやうに、且つ時局が充分圓滑に運用出來るやうにすることである、日印通商問題は今日あたり現地で日印兩國代表者の顏合せがある筈であるが何んとか纏るであらう

林、八田正副總裁 拓相に經過報告

〔東京十七日發國通〕十六日午後五時入京した林、八田滿鐵正副總裁は同五時半拓務省官邸を訪問し拓務側より永井拓相、堤、河田兩次官、木村參與官、稻垣滿鐵監督官等出席し鳩首協議に入つた、右協議會では、正副總裁が着京の挨拶後、八田副總裁は關東軍側から過般滿鐵改組案なるものを提示されて以來の滿鐵側のこれに對する折衝經過の詳細なる報告をなした、右に就ては勿論種々意見の交換をなしたが、更に當面の問題として目睫の間に迫つた臨時總會に對して執るべき滿鐵の方針に就ても協議し會談五時間に亘り午後九時散會した

改組問題は まだ正式に話を聞いてゐない 齋藤首相時局談

〔葉山十七日發國通〕齋藤首相は週末休養のため十六日午後自動車で四ツ谷の私邸を出で四時四十分葉山一色の別莊に一ケ月半振りで落着き二泊の上十八日朝歸京の豫定であるが豫算編成も終り内政會議も峠を越した氣易さから氣嫌よく次の如く時局談を試みた

内政會議は今議會迄には餘り時日が無いから一、二回位しか開けぬだらうが、農村問題については、年内には一應纏めたい、然し農村問題の外にも思想問題、教育問題等については案が出來次第議會中でも内政會議を續けて氣永にやつて行く積りだ

農村負擔の輕減に關しては特別の委員會を設置することになつたが、これとても格式張らず實質的にやつて行く、委員會も年内には顏合せ位は出來ると思ふ、内政會議の結果は、結局追加豫算と云ふことゝならうが公債を發行して之から持つて來ることは大藏大臣が仲々ウンと云はないからさう簡單にも行くまい、議會では農村問題が一番喧しく論議されるであらうが、いくら喧しく云はれても出來ることは出來るし、出來ぬことは出來ぬ、農村も疲弊と云ふけれども事實を聞いて見るとそれ程でもない、時局匡救費を大部削減したと云ふ不平がある樣であるが、問題は結局豫算の運用方法即ちやり繰りにある

外交刷新に外務省大異動

廣田外相陣容を整備して國難外交にあたる

〔東京十六日發國通〕廣田外相はオランダ公使齋藤博氏を駐米大使に、ニューヨーク總領堀内謙介氏を考査部長に任命するに決意したが正式任命と同時に左の異動を行ふ筈である

米國大使館參事官 武富敏彦
命オランダ公使
佛國大使館參事官 澤田廉三
命ニューヨーク總領事

又矢田スイス公使の滿洲參議就任に伴ひ目下デリーにある日印會商澤田代表が後任となる筈である、尚支那公使館參事官には桑港總領事若杉要氏が一等書記官の資格を以て補充され年末より新春にかけ廣田外交の陣容は整備されることとならう

齋藤博氏を 陸軍側絶對支持を表明

〔東京十七日發國通〕齋藤公使の駐米大使承認に關し、陸軍側は豫ねて推察してゐた事とて勿論絶對贊成で、外務省の大英斷を稱揚してゐるが陸軍としては齋藤氏に要望してゐる事は大体左の通りである

國威發揚と國權伸長は外交の根本原則であるから飽迄も之に徹底して貰ふ事は勿論であるが、日米間の眞の友好關係樹立以外に太平洋の平和を期待出來ないから、之が確立への努力を要望する、而して之を實現する爲の動向としてはアメリカこそ南北兩米の支柱であり、日本こそ東洋の唯一の支柱であると云ふ先決問題の解決がある、この爲には眞先きに日米國民相互間に低迷してゐる誤解疑雲の一掃が必要で之無くては第二華府會議

滿洲問題も如何に努力を致すとも完全なる結論を得ることは不可能である、齋藤氏ならば必ずや此大難事成就の爲に期待に背かない働を爲すだらう

駐露支那大使顏惠慶 明年一月歸國

〔南京十五日發國通〕駐露大使顏惠慶氏は目下ロンドンに滯在中であるが、明春一月歸國の筈である

永井駐獨大使の報告

〔東京十六日發國通〕永井獨逸大使發、外務省着電によれば日本商品の對獨影響は直接的な問題はないが、最近種々論議され、その中には黄禍等の言も使つて居るが、これは日本品進出を原因として歐洲各國が政治交渉に耽つたからで、この際斷然抗爭を中止し共同防禦の手段を執らねばヨーロッパは滅亡の時機が來やうとして居る、と論じて居るのである、此れに對し在獨逸の邦品取扱業者は對策を協議中であるが、日本政府が左の方策を執るべきであるとの意見が一致して居る

一、各國と個別的協定を結ぶ
一、無條約國又は差別待遇國に關税上適當な手段を講ずる
一、輸出組合設立のため強制カルテル設立法制定
一、官民聯絡に適當な制度を設置する
一、商標模造の取締り
一、我が經濟的發展は同時に原料國の利益である、先進國には新市場開拓を意味することを説明する

英紙擧つて反對

五、五、三の比率廢棄説に

〔ロンドン十五日發國通〕ワシントン軍縮會議に日本が比率廢棄を要求するとの報に對し、イギリスでは擧つて反對氣勢を擧げ、五・五・三の比率は飽く迄擁護すべきであると各紙は強調してゐる

舊紙幣の回收既に七割二分 明年六月までには全部回收の見込み

中央銀行は東三省官銀號、吉永衡官銀錢號、黑龍江省官銀號、および邊業銀行を合併設立すると同時に四行が特權を濫用して濫發してゐた舊紙幣總額一億四千二百萬圓（公定率による滿洲國幣換算額）は大同三年六月末までに漸次回收すると同時に新國幣の普及に努めてゐたが十一月末までに回收したものは熱河票一千百萬元と馬占山發行の馬大洋票百六十萬元を全部とその他合計一億二百五十三萬一千六百九十二圓八十二錢（舊紙幣に換算）即ち全体の七割二分で殘額は豫定通り明年の六月末までには回收出來るものとみてゐる

着京の門野重九郎氏 日印會商を語る

〔東京十六日發國通〕十六日着京せる門野重九郎氏は對印問題に關し、左の如く語つた

日印會商が未だに協定の成立に至らないのは遺憾である、併し既に綿布四億碼、棉花百五十萬俵、關税五割等根本的協定は出來てゐるので、細目協定も近く妥協がつくと確信してゐる、晒の割當數量が九、六%に決つたのは意外とする處である、今回の會商に於て印度の棉花栽培業者が非常に眞劍に且つ紳士的に交渉を行つた態度には感服した、我國では右會商に對し或は失敗ではないかと云ふ者のあるのを聞くが自分は決してさうは思はない、我國官民代表が一意政府及び民間當業者に訓令を仰ぎ協議を進めた努力は並大抵ではなかつたと推察するし、且つ關税七割五分に放置されてゐたのではその打撃も大いに考慮の餘地があつたと考へる、英國政府は自由通商主義を捨し、ブロック經濟に立て籠らんとしてゐるが、現下の國際情勢よりすれば之は當然な事で、世界各國は自國の防衞に汲々たる有樣である、然し斯かる風潮は世界經濟界の不況を更に深刻ならしめる結果を招來するのではないか、此の點世界各國共再考を要することと信じてゐる、我國製品は關税障壁其他各種の防遏手段を突破して進出してゐるのは實に目覺ましい程である、此の秋我政府當局では關税獨裁權を確保し通商防衞を決意したとの事であるが輸入割當、關税問題等に對しては充分に考慮する必要がある

駐米大使後任 齋藤博氏に決定

〔東京十六日發國通〕駐米大使の後任については先般來種々人選中であつたが十六日愈よ齋藤和蘭公使を任命するに内定し十六日午後一時半廣田外相は宮中に參内、内奏御裁可を經、同時に米國に對しアグレマンの手續をとつた

時局解決に 胡漢民氏重ねて聲明

〔廣東十六日發國通〕香港にある胡漢民氏は十五日重ねて左の聲明を發表時局解決に對する態度を表明した

一、孫總理の論旨に從ひ三民主義を實行する
一、福建鎭壓のため政府は民衆の利益を代表すること
一、政府は帝國主義の侵略を防ぐと共に變時にあつては完全に地方自治制を實行すること
一、軍の指揮者を内政に干渉せしめず、軍權は政府が掌握すること
一、抗日、掃匪、邊防を完全ならしめるため軍の配置を行ふ
一、完全なる自治制の實行
一、有能にして規則を遵奉する人物のみを政府の首腦部へ補すること

横須賀で飛行機事故二件

〔横須賀十六日發國通〕十五日午後五時半水上機の夜間飛行訓練中着水の際ブイに衝突機体は大破し沈沒した、搭乘者は幸ひに微傷を負つたのみであつた。又十六日朝八時四十分赤城の戰鬪機が飛行練習中發動機に故障を生じ墜落、機體を大破した乙も搭乘者は無事なるを得た

指導料と論文賣買の區別がつかぬ

〔東京十六日發國通〕博士號疑獄發生につき文部當局は博士號認可制度の缺陷を痛感し調査中であるが、現行制度によると指導官が弟子に暗示を與へ診察の場合二三、四千圓の贈與を受くるとも干渉すべき規定なく指導料と論文賣買の區別がつかないので近く該規定を改正して取締りを嚴にする筈である

修養團總會 けふ商業學校で

既報、滿洲修養團新京支部會創立八周年紀念向上會並びに昭和八年總會は十七日午後一時から商業學校道場で開催された

式は同日午後二時から總會、二時四十分から向上會に移つたが總會の順序は

一、規約の改正
一、役員選擧
一、庶務經過報告
一、會計報告

向上會順序は

一、行事
一、司會者挨拶 支部長
一、顧問推戴
一、講演 新京驛東總秘書課長
一、感話 有志
一、懇談茶話
一、申合事項
一、團歌、行事
一、閉會の辭

かくて同四時閉會した

人事往來

▲李銘書氏（吉林省民政廳長）十六日午後五時發吉林へ
▲榮孟枚氏（吉林省教育廳長）同上
▲荒木三等軍醫正（拉法衞戍分院長）十六日午後七時三十分奉天から
▲中村少將（歩兵第〇〇團長）十七日午前六時三十分發吉林へ
▲大森大尉以下〇〇〇〇名（歩兵第〇〇聯凱旋兵）同上內地へ
▲木暮大尉以下〇〇名（歩兵第〇〇隊）十七日午前八時三十分發哈市へ
▲服部伊勢松氏（朝鮮總督府事務官）十六日着任
▲岩井少將（修養團理事長）十七日午前十一時十五分來京國都ホテル投宿中
▲藤井關東遞信局長十七日午前十一時二十九分着飛行機で國都ホテルに投宿中

新京區公示第二十三號

昭和九年四月（昭和二年四月二日ヨリ昭和三年四月一日迄ニ出生シタルモノ）學齡ニ達シ新京室町尋常高等小學校又ハ新京西廣場尋常小學校尋常科第一學年ニ入學スヘキ兒童ハ昭和九年一月二十日迄ニ戸籍謄本又ハ戸籍抄本、及種痘證明書ヲ添付當所ニ届出ヲラルヘシ追テ入學届用紙ハ當地方係ニ於テ交付ス

宮內省各職各寮 宿直を增員
御慶事を御待ち申上ぐ

〔東京十六日發國通〕皇后陛下の御慶事は愈よ御近づかせられ、塚原侍醫は十五日から宮城に詰切り御警戒申上げて居るが、皇后宮職、侍從職でも一層緊張して御慶事を御待ち申上げて居る、宮內省は來る十八日から御警戒期に入り宮房の宿直員を一名增員し、皇宮警察部では同日から警手八名を增員する事となつたが愈よ御接迫の上は更に約十名を增員する事となつて居り、其他非番皇宮警手四十名は足止めの形で御慶事を御待ち申上げることになつて居る 內匠寮でも宿直員十八名を增員して總員五十九名とし、宮殿の御警戒、煖房、電燈等の御準備を申上げる事になつて居る

御誕生速報の準備成る

〔東京十六日發國通〕國民待望の皇后陛下の御慶事は二十日から二十五日迄の御豫定なので宮中に於ては勿論全市諸團体は早くも奉祝準備にとりかゝると同時に放送局、市內の要所では皇太子の際は一つ皇女の際は二つのサイレンが鳴らされる筈である

上り貨物列車顚覆で 各列車大遲延
急行料金は十八日まで拂戾し 近來にない大事故

十七日午前零時三十分四平街驛構內で五十輛程連結した第七十八貨物上り列車の後部から五輛目の貨車が脫線顚覆しこれが

「復舊」は午前六時四十五分やうやく終了した、原因詳細は不明調査中、この脫線顚覆のため第十五旅客列車（午前六時新京着）は五時間十分、第十三旅客列車（午前七時新京着急行）は四時間四平街驛を遲發し第十五列車は四時間五十分遲れて午前十時五十分新京驛に到着した、午前七時着急行列車は四時間十三分遲れて午前十一時十二分に新京驛に到着した、新京驛では午前六時、七時着兩列車が四時間以上も遲れて到着したので折柄友人知人の出迎へに來た者は幾時間經つても機關車の煙さへ見えないので右往左往で混雜を呈した、なほ午前七時着急行列車の急行券

「所持」の旅客には列車到着直後から十八日までに亘つて第二ホームの待合室で急行料全額の拂戾をなしてゐる、なほ前記二列車に接續してゐる午前八時三十分發ハルピン行列車は殆ど空車の儘發車した

脫獄犯人は皆目行方知れず
遂に迷宮入りか

既報、去る十三日新京總領事館署刑務所第九號監房を破壞し脫走した未決囚强盜犯人金成鼎(二四)、窃盜前科二犯、三原政雄(三〇)、强盜山崎幸吉(二三)の行方については新京署、新京總領事館署、首都警察廳が協力し搜査に努めるとゝもに沿線各署に手配をなしてゐるが未だ何んらの情報も得ず事件は迷宮入となつた

軍隊發着時刻
今夜三回に

一、十七日午後九時三十五分軍隊○○○名出發○○方面へ
一、十七日午後十一時二十分○○○名來京○○方面へ
一、十八日午前零時四十分○○○名同上

双發洋行の小火

十七日午前零時三十分ごろ市內日本橋通七十四番地双發洋行方から出火し、急報に接した新京消防隊員が急行消火に努めたゝめ大事にいたらず同四十五分鎭火した、原因は煙突の不完全と判明した

除隊兵の見送り
漸く旺んに

今曉ハルピンから來京した步兵第○○隊○○○名は十七日午前十時十五分發列車で南行した、驛頭には寒空をもいとはず見送りに出た一般市民、在鄕軍人、聯合婦人會、青年訓練所生等多數で賑かに凱旋兵を見送つた、中にも新京高女生は寸餘の時間も惜しい考査の眞最中なのに校旗を先頭に見送りに出たのは人目を惹くものがあつた

街の日記

藤影幼稚園 忘年園兒大會

西本願寺の藤影幼稚園では來る二十日午前十時から忘年の園兒大會を開き園兒の童話、遊戲、獨唱、おさぎ話、福引等があり多數參會を希望すると

西本願寺で 佛典研究會

西本願寺では每月十八日に佛典研究會を開催する由聽講料無料で、多數參會を希望する由

▲演題佛典編纂の歷史的槪要
▲講師光岡慈昭
▲時間午後七時より十時まで

落しもの

▲住吉野九丁目六番地正盛幸江さんは十六日午前十一時ごろ吉野町記念館前から松崎醫院に行く途中ハンドバツク一個在中十七圓指輪の保險券を落した
▲飛行場前竹崎組出張所樋口春雄氏は十六日午後八時三十分ごろ富士町二丁目カフエー銀座から日本橋通巡査派出所前に行く途中ニツケル懷中時計一個時價一十八圓を落した

盜難屆

▲日本橋通五十三番地丸善こと島善吉氏所有自轉車時價廿五圓を十六日午後九時卅分ごろ自宅前で窃取された
▲日本橋通五十三番地東洋藥房方西山庄吉氏所有自轉車時價二十五圓を十六日午後五十分ごろ自宅前で窃取された

居住消息

▲小原役満氏 露月町二丁目四十番地から露月町三丁目六十一番地へ
▲木村義見氏 錦町二丁目六番地から山吹町二番地櫻木寮へ
▲縣田濟剛氏 羽衣町一丁目二番地から露月町二丁目四十三ノ一へ
▲永門仲氏 彌生町一番地から興平胡同中銀宿舍へ
▲上田賢象氏 千鳥島一丁目より羽衣町三丁目へ

近く發表の陸軍異動で
秩父宮殿下參謀本部附に

〔東京十六日發國通〕近く發表される陸軍定期異動で步兵第三聯隊附參謀本部御勤務中の步兵大尉秩父宮雍仁親王殿下には參謀本部附仰付けられるものと洩れ承る

盛んな支那語熱
實補校大繁昌

事變いらい日本人の滿洲語熱が素晴らしく盛んになつて來たが、いま新京實業補習學校の生徒數を見ると本學年に入つての延人員千六百五十九名その實人員現在千二百七十四名の多數に上つてゐるが、そのうち支那語を專修するもの速成科二九〇名、第一期四九〇、第二期三五五名、第三期一三五名、第四期六〇名、第五期六〇名、第六期三五名、七期二一名、第八期一三名で千三百二十四名(延人員)に上りそのうち毎晩の出席者は四百名內外に上る盛況さである

凌源附近の化石類 濫掘禁止さる
文教部で天然物保存制度考究

義に憑永博士の滿蒙學術調査團の手に依つて、熱河省凌源地方より古生物學、地質學上貴重な資料たる魚貝類の化石が發見されたが、同地人民は最近此の化石を濫掘し發賣さするものが續出するに至つたので、文教部では學術上の見地から熱河省長を通じ、之等化石の濫掘方を禁止する旨通告した、尚文教部では之を機會に天然物の保存制度を制定するに決し、目下諸般の準備を進めてゐる

お菓子を買ふ金を 兵達さんに
室町校の感心な二人の少年

鶴の子タワシをこの寒空に賣り歩いて賣上げ金二圓七十錢を兵隊さんに獻金した感心な二少女があつた二日目、十六日午後一時ごろまた新京驛憲兵派遣所に十二三歲の男の兒が角封筒に「慰問金」「負傷シタ兵隊サンへ」「室町小學校五年生細川」と赤色インクで書いたものを差し出した少年があつた、當直の吉成憲兵上等兵は重なる兒童の奇篤行爲に感激して開封したら次の樣な手紙が添へ一圓三十二錢が入つてゐた

コノ一圓三十二錢ハオカシヲカフノヲヤメテ貯シタ兵隊サンニオカシヲ上ゲヤウト思ツテタメテオキマシタ、コレデ兵隊サンタチニナニカ買ツテ上ゲテ下サイソノウチ弟ガ十二錢デ兵隊サンニナニカ買ツテ上ゲテ下サイト言フノデ僕ノトイフショニ入レテオキマシタ

五年生 細川哲一郎
二年生 細川秋彦
(原文)

邦人船長以下四名乘組の 發動漁船行方不明

〔大連十六日發國通〕大連市北大山通り角勇設動漁船「寶海號」六噸に船長山本重松以下日本人四名乘組み十五日午後三時乃木町棧橋發星ケ浦沖合に出漁した儘行方不明となつたので十六日午後水上署に搜查方願ひ出た、右は十五日夕刻からの吹雪に遭難したものと見られて居る

年末年始の 贈答品の選擇 に就いて

年末年始の贈答品の選擇といふことについては、毎年の事ながらどの御家庭でも隨分惱まされる問題だらうと考へます

虛禮廢止といふやうなことも近年多少唱へられてはをりますが、複雜な社會生活を送つてゐる吾々にとつてはこれも事實に於いて或は不可能の事ではないかとも考へられるし又に一度や二度親戚知己を訪問して溫い心の交換を行ふことは寧ろ結構とばかりも申されないと思ひます、要は唯どうしたら虛禮にならない心からの贈物になるかといふ事になるのだと思ひますが、では何が良いかと云へば贈つて喜ばれ貰つて重寶なものが一番歡迎されるのは勿論のことですがさてその選擇が仲々むづかしいものです

貰つて重寶なものといへば、先づ吾々の日常生活に一日も無くてならないライオン齒磨とライオン齒刷子を組合せたものなど好適なものだらうと思ふ

第一衞生品ではあり値段も恰好、大人にも子供にも誰にも喜ばれるといふ點でも必ず歡迎されるでせう

花街の噂
菊本の雛太郎

市內の東二條通り、日本橋通りから北に十字路が四ツ所ばかりあるやうです、第一の角が赤木洋行さんですし、第二のところが丸新館とカフエー人形座、第三の角が一方にバー上海とカフエートリオ、その次の十字路の角が一方に新京旅館、一方にサロン、富士があつたですね

其第二の十字路カフエートリオが角にある橫町を入ると、先へ行けば行くほど賑かになつて來る、たしか料亭嬉對と大吉が向ひあつて居て、その先に行くと梅月がある、またそれから先に行くと朝鮮の料理店が軒をならべてゐるが、その中間のところ內地人經營の店が一軒はさまつてゐる屋號を「菊本」と云ひ、內地人の藝妓が七八人ゐるさうですこの寫眞はその中の一人、雛太郎と云つて本道の踊りや三味がうまくて愛嬌がよくてと頗りにはめて居りました、眞否はまア本人に就いて實地に調べて貰ふよりしかたがありません、店も大に勉強するさうです

陸軍の新軍刀
閑院、秩父兩宮殿下の台覽を仰ぐ

〔東京十六日發國通〕陸軍の新軍刀は本日參謀本部に於て閑院秩父兩宮殿下の台覽を仰いだが、日本古來の陣太刀に則つたもので皇軍意識百パーセントのものであつた、尚ほ新軍刀は二十日頃勅許を仰ぎ公表される筈である

逮捕された强盜團 余罪多數自白
新京、公主嶺を股に荒した犯人

既報十六日午前五時ごろ附屬地境界某所で新京署成松、岩田、張の三刑事に逮捕された拳銃强盜團河北省生れ張吉祥同謝鳳祥、蕭占林に就き嚴重取調べたところ三名は

「拳銃」を所持し新京、公主嶺を股にかけ新京で三件、公主嶺二件の拳銃强盜を自白した 犯人は去月十日公主嶺河南王八街雜穀商開海山氏方を襲ひ現金八十圓、衣類一點を强奪、本月四日午後六時四十分公主嶺附屬地外農家を襲ひ馬五頭を强奪市場に賣却し直に新京に潛入し、六日午後六時ごろ新京總領事館裏側滿人菓子商方を襲ひ現金三十四圓防寒外套を强奪した足で同十一時新市場材木商前路上で滿人を襲ひ、時價百圓のキツネオーバを强奪、同七日午後八時ごろ城內無線台附近で滿人を襲ひオーバ時價十五圓を

「强奪」した、新京署の照會で公主嶺署から係員が急行首實驗をなした

西部線列車 匪襲事件
鐵道損害は約 一萬金ルーブル

〔ハルピン十六日發國通〕北鐵西部線に於ける匪賊の國際列車襲擊事件に鑑み日滿當局では警乘員增加等適切有效な措置をとり乘客の安全と歐亞連絡幹線の徹底的保護を期することゝなつた、尚十五日の國際列車遭難により鐵道の損害は只今の處一萬金ルーブルと算定されてゐる、匪賊に掠奪された旅客の所持品、手荷物等を加算すれば被害は相當莫大な額に達するだらうと言はれてゐる

捕はれて八十二日 漸く釋放された
本庄幽蘭女史の書翰

〔ハルピン十六日發國通〕人質となつて以來八十二日目に釋放された本庄幽蘭女史はこの程某氏宛に大要左の如き書翰を寄せて來た

衰弱未だ舊に復さず、足腫れて步行自由ならぬも歲晚餘日なくチチハルへ護送せられ候間穆稜、掖河、牡丹江、寧古塔、一面坡、阿城等の各地に立寄り、來る二十二、三日ハルピンに出で申すべく候 ハルピンには三泊仕るべく都合で馬賊雜談を一夕演ずるやも計られず、そは未だ確定せず、何しろ骨と皮ばかりの衰弱長時間の高聲には體力堪へ得るや否や未知數なり、今回の遭難に對し民衆の同情の聲高きも意外なるに、軍隊側の感激並々ならぬと覺しく穆稜に於ては日本人有志より二十四圓、ポグラニチナヤにても三十三圓、而して海林にては領事館警察の御力にて被服一式とチチハルまでの切符代までも御配慮下されある由、八十二日の苦難もかくては返り咲く老木の花、感謝の涙止めあへず候

ラヂオ

十八日(月曜日)新京
午後五時 〇分 子供の時間(奉天より) お話「その後の大國主命」楢崎正一
同 五時二〇分 ニュース(英語)
同 五時四〇分 ニュース(露語)
同 五時三〇分 ニュース(鮮語)
同 六時 〇分 ニュース(東京より)
同 六時二〇分 語學講座(滿語) 講師 高宮盛逸
同 六時四〇分 語學講座(日語) 講師 植松金枝
同 七時 〇分 演藝(滿語)
同 七時三〇分 講演(滿語) 滿俄政治比較觀 哈爾賓公報新京支社長 吳字存
同 八時 〇分 ニュース
同 八時三〇分 時報 氣象豫報 番組豫告(滿語)
同 八時三一分 ニュース(東京より)
同 八時四五分 ニュース 氣象豫報
同 九時 〇分 演藝 音曲噺 曙一平
引續きプログラム豫告

慶安異聞 艶魔地獄（百二十三）

（舞臺上演 映畫化）　玉水三郎 作　（畫）長谷川小信

さゞめ言（一）

「ちよいとお尋ね申します。此方樣に金井牛兵衛樣と被仰るお方がお在ではございませんか」

美人は垣越しに問ふた。

三平と長吉は、答へをせずにはゐられなかつた。先づ長吉が、

「知りませんね、私達ア手間取りで、今日初めて來たお邸ですから……ねへ兄哥」

斯う言つて三平を見た。

「さうだ、だが折角の事だから、お前ちよつくらお勝手へ行つて、聞いて來て上げな」

「ヘイ、可うございます。別嬪の頼みだから……」

「何を言つてるんだ」

叱られて長吉は、勝手へ飛んで行つた。

女は三平に向つて、

「此方は小普請役の大川郁之進樣のお邸でございますね」

「エヽ、さうですよ」

三平は女の方に見向きもせず、木鋏の音を高くさせてゐた。

其處へ長吉は馳せ歸つて來て、

「姐さん。お前さんは湯島から來なすつたんでせう」

女は羞恥むやうに、

「ハイ左樣でございます」

「今、うつかり名前を聞かずに行つたもんだから、判らなくつてね……お勝手の女中が、若し湯島からのお客樣なら、構はずお通り下さいツテ……彼方にソレ茶の室がありませう……彼處へズツト」

「左樣でございますか、御親切に有難う存じます。お二人さんにお手を止めさせまして、誠に相濟みません」

花御者らしく、愛想よく挨拶して、それから御神前に賽錢を擲つて、裏門から入つた。

長吉は女の跡を、鼻の下を長くして見送つてゐた。

「オイ長公、いつまで見てゐるんだ見つともねえ」

「だが三平兄哥、ありやタヾ者ぢやねえぜ」

「何でも可いや」

「こんなお屋敷方へ出入りする女たア女が違ふ」

「ナゼよ」

「湯島から來たといふからは、天神樣の境内で、オツな家の二階座敷、ピンとかシャンとか言はせてゐる女だア、それで此大川樣の邸內にゐる、金井牛兵衛といふ人がツイ一杯やつた機みで、あの女と出來て了つて、身共の住居は小石川水道端、大川方であるに依つて是非參れよ……ヘア行きますとも……テナ事で、今日眞晝間人目を避ける駕籠の中」

「何を言つてるんだ。お前は恪氣深いな。何うでも可いぢやねえか」

「それともズラリ列んだ水茶屋の軒提灯は見覺えある……」

「まだ言つてるのか、茶屋女だつて何だつて可いぢやねえか」

「でも氣に懸つて……」

「莫迦だなア」

二人は冗談話に、さゞめき笑つてゐた。

其處へ八つ時の茶受けとして、盆に載せた餅菓子、土瓶湯呑みを持つて來た女中が、

「棟木屋さん、お茶をお上んなさいよ」

「ヘイ有難う……」

長吉は茶は飲まずに、茶室の方へ立つて行つた。彼の男女が頻りに氣になるらしい。

運勢

十二月十八日（舊十一月二日）　月曜　戊午　赤口　破　心宿

●一白の人　幸運には惠まるゝも華美驕奢は愼しむべし　丙と申と亥が吉

●二黑の人　辛抱甲斐の理はあるも日盗難遺失病氣は注意　丙と亥と丑が吉

●三碧の人　衰運なるを輕視して七顛八倒、苦みを招く　乙と丙と寅が吉

●四綠の人　焦り過ぎて失敗を生ず短慮を戒め安全なり　丙と申と寅が吉

●五黄の人　出る杭は打たる目上目下の融和を肝要とす　辛と壬と丑が吉

●六白の人　善惡定めなき日大事を起さねば咎は免かる　丁と戊と亥が吉

●七赤の人　發達の途開けて利益を產み出すべき幸運日　丙と辛と亥が吉

●八白の人　緊張味豊かに精力を注ぎ事を處すれば吉　亥と壬と丑が吉

●九紫の人　損害を誘發する日他念なく常業に從ふが吉　乙と辰と癸が吉

温い汁物の作り方

味噌汁の拵へ方（以下全部五人前）

一、濃汁の取方

材料　赤味噌（仙臺）五十匁、豆腐八十匁（約一丁）鰹節十五匁、清水五合。

味噌は擂鉢で充分擂り乍ら水氣を硬く搾つた豆腐を加へ尙よく擂つた頃定量の水を徐々に加へ味噌こしで鍋にこし鰹節の削つたものを入れ中火にかけ稍〻暫く煮て火より下ろして毛篩を以て他の鍋に濾過して好みの種と味の素少量を入れて供する。

二、味噌汁の仕立方 其一

粒味噌（赤）は擂鉢で充分擂り粒がなくなつた頃適宜の水を加へ能く擂り混ぜて後鍋に味噌こしを以て濾過し其の內に適宜の鰹節或は煮汁の類を入れて火にかけ沸騰した頃、上に浮いた泡をすくつて捨て、二三分間煮て火から下ろし他の鍋に毛篩でこし乍ら移し再び火にかけ好みの種を入れ味の素少量を入れて供します。

三、味噌汁の仕立方 其二

裏ごしにかけたる赤味噌を適宜の煮出汁でゆるめ火にかけ沸騰した上に泡の浮いた頃これをすくつて捨て、少量の煮汁味醂を加味し再び篩にかけ、好みの食品を加へて用ひる。

備考　味噌は長く煮ると香氣を失ひ不美味くなりますからザット煮て頂きます。硬い實を入れる場合には水炊きして後味噌を加へる樣に致します。

さつま汁

材料　豚肉（鳥肉なら更によろし）五十匁、大根五十匁、里いも五十匁、牛蒡三十匁、人參三十匁、ねぎ五十匁、味噌五十匁、味の素少量、生薑少量。

準備　豚肉は細かく切り、野菜類はブッカク如く廻し切にし生薑は叩き潰して置きます。

調理　鍋に一升の水と肉、ねぎを殘した野菜、こした味噌を入れ火にかけ二時間位氣長に煮込み、ねぎを入れてザツト火を通し味の素を入れます。

鯛のうしほ汁

材料　大鯛の頭一つ、味の素五分、食塩茶匙一杯、醤油一滴。

準備　大鯛の頭を大切りにして擂鉢に入れ鹽をドッサリ撒りかけて約一時間程經て鹽の解けた時沸湯をかけ（霜降りにすると云ふ）一度手早く攪き混ぜて湯を捨て冷水を取替へ／＼冷やして鱗を指先で洗ひ落して置きます

調理　鍋に水七合程と鯛を入れ强火にかけ沸騰せんとする間際に表面に浮く泡を叮嚀に掬ひ取り沸騰したら火力を弱火として十分間程煮て食鹽、醤油一滴味の素にて味をつけ茶碗に盛る

鳥肉入けんちん汁

材料　鳥肉三十匁、人參一本、大根少し、里芋十個、牛蒡半本、豆腐一丁、椎茸三個、醤油大匙一杯食塩少量、胡麻油少量、味の素少量。

準備　鳥肉は細く切り、野菜類は適宜に切つて置きます。

調理　鍋に胡麻油を入れ煙立つやうになつ

かき玉汁

材料　玉子三個、煮出汁五合、醤油大匙一杯、食鹽味の素少量、葛粉大匙三杯

準備　玉子は割つてかきまぜて置きます。

調理　鍋に煮出汁を入れ醤油食鹽味の素で味をつけ、葛粉を水溶きして流し入れ、少しトロリとさせ、玉子を糸のやうに流し入れ、静にかきまぜます

鱈の振り葱汁

材料　鱈百五十匁、葱三十匁、生姜少量、醤油茶匙一杯、食鹽少量、味の素少量、昆布煮出汁五合。

準備　鹽鱈は水に浸して鹽抜きをして大きく角切として置き、葱は小口より細く刻み、布巾につゝみて揉み、ヌラを取り、水の中にて晒し、水氣を絞つて置き、生姜は擂りおろして汁だけをとつて置きます。

調理　鍋に煮出汁と鱈を入れて沸騰させ、浮上る泡を掬ひ取り、醤油少量と適度迄の食鹽を入れて味をつけ、味の素を加へて椀に盛り、晒し葱と生姜の絞り汁を一滴落入れて吸口とします。

三平汁

材料　塩鮭五十匁、馬鈴薯百匁、玉葱五十匁、大根八十匁、酒粕三十匁、味の素少量。

準備　鹽鮭は一寸角位に切り、馬鈴薯は皮を剝き、六、七分の角切とし、大根は堅四ッ割として二分の小口切とし玉葱は上皮を剝き、荒千切として置きます。

調理　鍋に水七合と野菜及び鮭、酒粕を入れて軟くなるまで煮て味の素、食鹽にて味をつけます。

備考

た時、野菜類を入れて油いりし湯七合程を入れて沸騰させ、浮上るアクをすくひ取り、總てに火の通つた時豆腐をつかみつぶして入れ醤油、食鹽、味の素にて調味します。

備考　豆腐は茹で、油揚にして用ふるを本式とするが硬くなつて消化が惡いから最後に入れる事としました其點御承知を願ひます。